

かんざき給食だより

11月号(No. 8)

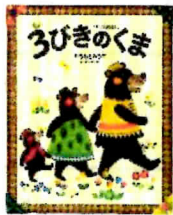
図書館と給食のコラボ企画

11月は、各学校の図書館では、読書週間が企画されています。そこで、11月16日～20日は、本に出てくる食べ物を使った料理や、本に出てくる料理に少しアレンジを加え給食で再現します。また、ここに紹介した本以外にも食べ物についての本はたくさんあります。図書室に行って探してみましょう。

★「きょうのごはん」 (加藤 休ミ 作)

ネコがご近所を歩いて夕飯パトロール。ここのお家の今晚のご飯は荷かな？といろいろな料理が出てくる絵本です。この本の絵は、本物のようです。とてもきれいな絵なので、一度は見てみてください。

給食には、魚の塩焼きが出てきます。はしを上手に使ってネコのように上手に食べてみましょう。



★「3びきのくま」

これはイギリスのお話です。いろんな人が日本語に訳しているのと同じタイトルで少し内容が違う本がいくつかあります。一人の女の子が、森で迷ってしまい、小さな家を見つけます。のぞいても誰もいないので、入ってみることにしました。しかしその家は、3匹のくまの家なのです。女の子は、くまの家の中のご飯を食べたり、ベッドで眠ってしまったりします。そのときに出てくるスープを給食で再現します。さあ、どんなスープがお楽しみに!!

★「しょうたとなつとう」 (星川 ひろ子 作)

5才のしょうた。3才のときに、納豆をうまく混ぜることができず納豆まみれになり、家族に笑われた日から納豆が嫌いになってしまいました。そんな中、おじいちゃんと大豆を育てることになり、やがてそれは「まほうのたべもの」納豆に変身したのです。心が温まる絵本です。

給食にも納豆を出します。しょうたのようにならないように、上手に混ぜてね。



★「つきよのキャベツくん」 (長 新太 作)

月のきれいな夜にキャベツくんとブタヤマさんが散歩をしています。そのときにブタ1匹を揚げたとんかつが登場し、キャベツくんとブタヤマさんがとんかつを食べようとしたら、最後に衝撃的な展開が待っています。

キャベツくんは、サラダになって給食に出します。どんなサラダになっているかお楽しみに!!

★「ひみつのカレーライス」 (井上 荒野 作)

フミオの家族はカレーライスが大好きです。今日もみんなで楽しく食べています。そのとき、フミオの口の中から、小さな黒い粒が出てきて・・・。カレーの種をめぐる不思議な物語です。

給食にもカレーライスを出しています。絵本みたいに、具がゴロゴロに入ったカレーライスになっているのでしょうか？

